



補習校でできる 豊かな心を育てる取り組みを

先週の昼食時に小2の子どもたちと昼食をともにしていた時、「現地校で13個も表彰してもらった」と話をしてくれた子がいました。他にも現地校で表彰を受けたという子どもたちが少なからずいることも知りました。補習校の生徒が現地校で精一杯努力し、その成果を認められていることは、本当にうれしいことです。現地校は、ひと足早く夏休みに入り、子どもたちは今一息ついたところでしょうか。しばらくは、補習校が唯一の学習の場となります。引き続きがんばってほしいと思います。

さて、先週の全校朝礼で、子どもたちに「鉢植えのアサガオ」を紹介しました。5月の全校朝礼で「花ややさいの栽培」の話をしていて、その後も幼稚部や小1ではアサガオの種を植えて育てる取り組みをされていたので、我が家で育てている「鉢植えのアサガオ」を持って行きました。日本の小学1・2年生は、「生活科」という教科があり、教科書もあります。(補習校でも4月に配布しています)この中では、花や野菜を育てる取り組みがあり、特にアサガオやひまわりの育成が盛んです。水やりが大切なアサガオの成長を見るにつけ、私は、小雨が降った後も校庭の片隅でペットボトルの水をアサガオの土にかけていた子どもたちの姿を思い出します。



6月4日は「虫歯予防デー」
幼稚部・折り紙で作った歯ブラシで歯を磨いている水彩絵



この紹介の折、「支柱に伸びているアサガオのつるは、どんどん伸びてどこまで行くのだろう」と話した時、子どもたちの目が輝いたように見えました。小1の学級では、かなりの子にまいた種が発芽したという報告がありました。暑いマイアミの気候にぴったりなのでしょう。現地校ではこのような花を育てる取り組みは少いと聞きました。この取り組みは、子どもの豊かな心を育てる教材ですし、観察の目を育てる教材です。今後は、花が咲き、たね取りの経験をし、アサガオの押し花もすることができます。同時に観察日記や観察記録も続けられれば素晴らしい努力ですし、日本語力育成の大きな力になります。夏休み中の自由研究の課題にもなることでしょう。「花が咲いたよ」と私のそばに話をしに来てくれる子どもたちがたくさんいることを楽しみにしています。

本日 文集「MIAMIっ子こんにちは」が配布されます

ずっしり重い文集26号「MIAMIっ子こんにちは」が配布されました。文集の中では、異文化で育ち、異文化に日常触れている子どもたちの豊かな感性に出会えます。体験した感動や思いが満載です。読み終わった後は、文集を通して子どもたちの新たな面を見つけ、新たな出会いを感じることでしょう。私もこれからゆっくりと読みたいと思います。作成に当たり、大変お世話になりました運営委員、クラスペアレントの皆様にお礼を申し上げます。有難うございました。